

もくせい通信

木津川市立相楽台小学校

令和7年11月20日(木)

令和7年度 研究主題

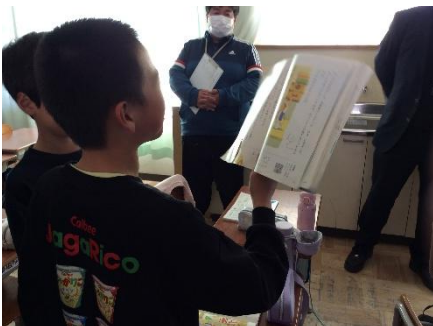
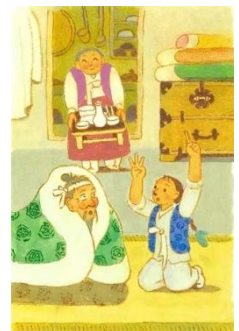
ゴールに向かって主体的に学び続ける国語学習

～それぞれの想いを発信し、対話力を磨く児童～

11月19日(水)5時間目、3年2組で国語科「三年とうげ」(朝鮮半島の民話)の研究授業を行いました。

本単元は、登場人物の行動や気持ちをとらえること、さらに世界の民話に触れ、自分が選んだ民話を紹介することをねらいとしていました。

授業は、今年度の重点目標である「対話」を中心にした構成となっていました。



教科書のここに、「めるでの木のかげで」って書いてあるから、
これでもいいかな、と私は思ったの。

物語の最後に、『ところで、三年とうげのめるでの木のかげで、～と歌ったのは、だれだったのでしょうか。』という部分について、前時に考えていた自分の意見を友だちに伝えていきました。

次々に相手を見つけて意見交流を進めていったり、途中で教科書に立ち返ったりする場面も見られ、自分の意見の根拠を示している様子がありました。

意見交流後、再び自分の意見を振り返る時間には、集中して書き込む子もみられ、活発な意見交流ができたようでした。



授業研究会では、対話力向上のために、授業の中でペアワークの回数や話し合いの視点を与えるなど、条件を指示することや、本文の叙述に基づいた手立てをするために、教材解釈を丁寧に行い、全体交流やふり返りの時間を含む展開にすることなどについて考えました。

